

AXIES 2022 年次大会感染拡大防止指針

AXIES2022年次大会実行委員会

本大会においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、以下を基本対策として徹底するものとします。

1 会場到着までの注意事項について

1.1 各個人へホームページ（HP）を通して、事前に周知する。

- マスク着用にて大声による会話を控える。
- 3密を避ける行動をとる。（時間に余裕を持った移動をお願いする。）
- 当日、症状（発熱又は風邪等の症状）がある場合、参加を見合わせてもらう。

2 会場において

2.1 徹底した感染防止等

2.1.1 マスク常時着用の担保

- マスク着用状況を確認し、個別に注意等を行い、マスクの常時着用を求める。
- マスクを持参していない者がいた場合には、入場を制限するなどにより、マスク着用100%を担保する。

2.1.2 大声を出さないことの担保

- 大声を出す者がいた場合、個別に注意等を行う。
- 隣席の者との日常会話程度は可とする。（マスクの着用が前提）

2.2 基本的な感染防止等

2.2.1 手洗・手指消毒

- こまめな手洗・手指消毒をポスター/館内放送等により奨励する。
- アルコール等の手指消毒液を設置する。

2.2.2 消毒の徹底

- 施設内のこまめな消毒を行い、消毒液を設置する。
- 手指消毒をポスター/館内放送等により奨励する。

2.2.3 換気

- 仙台国際センター側の指示に従い換気的环境を整備し、こまめな換気（ドアの解放等）を行う。

2.2.4 密集の回避

- 必要に応じ、人員の配置、導線の確保等の体制を構築し、休憩時間や入退場時の密集も回避する。

- 入場口・トイレ・売店等の密集が回避できない場合はそのキャパシティに応じ、収容人数を制限する。

2.2.5 身体的距離の確保

- 大声を伴う可能性のある場面では参加者同士の身体的距離を確保する。
- 大声を伴わない場合、最低限人と人とが触れ合わない程度の間隔を確保する。
- 混雑時の身体的距離を確保した誘導、密にならない程度の間隔（最低限人と人とが触れ合わない程度の間隔）を確保する。

2.2.6 飲食の制限

- 飲食用の感染防止対策を行ったエリア以外での飲食を制限する。
- 飲食エリアのテーブルはスクール形式とし、着席での飲食に制限する。
- 食事中以外のマスク着用を徹底する。
- 休憩時間中及び会場内での食事等による感染防止を徹底する。
- アナウンス等により、飲食制限について周知徹底する。

2.2.7 感染の可能性のある参加者の参加制限

- 入場時の検温における有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）については、入場を制限する。

2.2.8 参加者の把握

- 可能な限り事前申し込みとし、あるいは入場時に連絡先を把握する。
- アプリのQRコードを入口等に提示し、具体的な促進措置を導入する。

2.2.9 出展関係者の行動管理

- 有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出展・準備を控える。
- 練習時、催物開催前も含め、声を発する演者間での感染リスクに対処する。
- 出展関係者間の適切な距離確保、換気等の対策を実施する。

2.3 大会前後の行動管理

2.3.1 イベント前後の感染防止の注意喚起をする。

- 「3つの場面」の注意喚起
 - ▷ 飲酒を伴う懇親会等
 - ▷ 大人数や長時間に及ぶ飲食
 - ▷ マスクなしでの会話
- 業種別ガイドライン遵守店舗の利用呼びかけ等をする。
- 交通機関・飲食店の分散利用の注意喚起をする。
- 可能な限り、予約システムを利用し事前申し込みするよう促す。

3 大会開催の共通の前提

3.1 入退場やエリア内の行動管理

- 可能な限り来場者の区画を限定し、1.身体的距離の確保、2.密集の回避、3.飲食制限、4.大声禁止、5.催物前後の行動管理、6.連絡先の把握等を担保することに努力する。

3.2 地域の感染状況に応じた対応

- 宮城県復興・危機管理部復興・危機管理総務課、仙台市危機管理局危機管理課、施設提供元、青葉山コンソーシアム（仙台国際センター）の感染防止対策と相談の上対応する。
- 地域の感染状況に変化があった場合は柔軟に対応する。

以上